

科学と自然

大竹英明

ハワイ島マウナケア山で、科学と文化の対立が起きています。

マウナケア山は標高 4,205m で、空気が澄んでおり、気候も安定していること、また、周囲に人工の光も少ないことから、日本をはじめ世界各国が今まで 13 基の天文台を作っています。そこに、日本、アメリカ、カナダ、中国、インドの 5ヶ国が共同で口径 30m の巨大な望遠鏡 (Thirty Meter Telescope、以下「TMT」) を持つ天文台を建設しようとしています。

しかし、ハワイの先住民にとって、マウナケア山は神々が住む聖地だそうです。そのため、すでに建っている 13 基の天文台よりも数は増やさない、新しいものを作る場合は、既存のものを撤去する、という取り決めがあるそうです。TMT の建設には、既存の天文台を撤去するという予定がないため、対立してしまっているのです。この対立は 2009 年からと 10 年にもわたり、いまだに決着していません。一時は抗議デモと警察が衝突し、非常事態宣言が発令されたほどです。

どちらの言い分も正当なものだと思います。科学者にとっては地球上で数少ない天体観測の好立地、先住民にとっては科学が発達する前から進行してきた聖地。あるコラムで、「伊勢神宮の境内に科学施設を作ることになったらどう思うか」と書いていましたが、その通りだと思います。とても考えさせられる、悩ましい問題です。

これは、2 号前の splash67 号でも書いたことですが、オーストラリアのウルル (エアーズロック) でも同じような対立がありました。こちらは観光と文化の対立でした。この場合は、観光によって現地の人も収入を得ていたということで、対立構造が違いますが、結局は住民が文化を優先することを決め、オーストラリア政府もそれを尊重するというで平和裡に決着しました。その結果、つい先日の 10 月 25 日をもって、ウルルへの観光客の登山が禁止されました。ハワイの方も双方が納得するような、いい解決案が見つかることを願ってやみません。

2019.12.1

VOL.69

SPLASH



2019 08~09

上海・西安 視察研修レポート

大竹 英明



はじめに

今年度の東京倉庫協会研修委員会主催の海外物流事情視察研修は、今やアメリカに次いで世界第二位の経済大国となった中華人民共和国の中でも、一番の商都である上海と、中国四千年の歴史のある古都 西安を8月28日から9月3日にかけて訪問してきました。上海は、中国随一の商業都市として、大きな発展を遂げています。また、物流の要としても、コンテナ取扱高世界一の港湾や、貨物取扱量、利用客数で世界有数である空港等があります。西安は、古くは秦の始皇帝の頃から長安という名で都としての歴史があり、昔も今もシルクロード＝一带一路の中国側の拠点として鉄道貨物を中心に整備が進められており、その取扱量を急速に伸ばしています。

出発前

成田空港 14:00 発の便だったので、11:00 に集合し、結団式を行いました。その後、出国手続きに向かおうとしたところ、出発が遅れる見込みで、15:00 ごろの次の放送を待てとのこと。出発案内板を見ると、どの航空会社も上海の便だけ大幅に遅れています。待つこと約5時間、結局 16:30 ごろ放送が入り、「明日の朝、8:30 の出発になります」と！出国手続きを取り直し、急遽予約した空港近くのホテルに入り、1泊目を成田で過ごしました。翌日も若干遅れ、都合19時間遅れになりました。ちなみに隣の搭乗口はデモで大混乱している香港行きでしたが、ちゃっかり時刻に飛び立っていきました…。



- ① これぞ上海の夜景
- ② 西安の安定門（西門）
ここがシルクロードの出発点
- ③ よく考えるとなかなか見えない出発表示板
- ④ 入江三宅設計事務所さんが設計した上海ワールドフィナンシャルセンター

上海

1 日通国際物流（中国）本社

中国での物流、日通の取り組みについてレクチャーを受けました。ここでは、東アジア（中国、香港、台湾、韓国）を所管しています。一带一路政策による鉄道でのヨーロッパへの輸送の他、SS7000といわれる上海～シンガポール間のトラック輸送の普及に力を入れています。中国国内の経済としては、華北（北京中心）、華東（上海中心）華南（香港・深セン・広州中心）と分けられますが、近年は華南地域の発展が著しいとのこと。以前は世界の工場として輸出が多かったが、リーマンショック後は消費が拡大し、国内消費または輸入が増えてきています。鉄道のヨーロッパへの輸送について、1列車あたり40ftコンテナ40～50本を積むそうです。所要日数は16日、ドアtoドアで25日。輸送品質は船とほぼ変わらず、所要時間、価格は船と航空便の中間を狙っています。主な輸送品は、中国→ヨーロッパ：電器、自動車、消費財、ヨーロッパ→中国：木材、医薬品、医療機器、化学品。

2 日通国際物流（上海）有限公司

保税倉庫を見学しました。上海市郊外外高橋保税区にあります。中国では、個別の保税倉庫ではなく、地域一帯を保税区と指定し、そこに入った貨物はすべて保税の扱いを受けるそうです。一般の貨物も混蔵して保管できる「物流園区」もあり、2004年の中国のWTO加盟に伴って制度が発足したとのこと。また、この外高橋保税区、のちに述べる上海洋山深水港地区、浦東国際空港地区を合わせ、「上海保税貿易試験区」となっています。ここに隣接する外高橋港には、近距離航路が就航しています。

3 上海洋山深水港

世界有数の巨大港湾、コンテナターミナルを見学しました。上海沖にあった小島の周辺を埋め立て、2005年に開港。現在なお拡張工事が進められています。欧米などの量距離航路が就航。上海側からは32.5kmの東海大橋を渡ってアクセスします。最近開設されたCYでは、世界最大の自動化ヤードが運用されています。出発前、ここには約1,500戸、3,300人の住民がいましたが、国家プロジェクトとして強制移動したそうです。



日通国際物流（上海）倉庫
外高橋港

洋山深水港は大きすぎて、模型でないと全体像がつかめません

4 上海暢聯（シャンレン）国際物流

ブランド品を扱っているEC物流の倉庫を見学しました。入庫、検品、保管（10mほどの高さのラック倉庫にピッキングフォークを使って保管）、1オーダー1アイテムのピッキングは従来通りほぼ手作業でした。1オーダー複数アイテムの仕分けはAI（と呼べるほどのものでもないと思いましたが）を使った自動化をしています。ロボット掃除機「ルンバ」のような台車の上にプラスチックの皿が載り、その皿に載せて商品を運び、目的地に着くとその皿が傾いて商品を行先別のオリコンに落とすというものでした。セキュリティ上、アクセサリ、貴金属類（結婚指輪も！）、財布、携帯電話等の持ち込み禁止。ということで、倉庫内の撮影は一切できませんでした。また、結婚指輪が外れなかった方は、中に入れて、バスの中で待機でした。出口に空港と同じような金属探知機でチェックされるのですが、スポンのチャックだけで引っかかるほど、感度を高くしていました。



上海リニアモーターカー

5 リニアモーターカー

上海の空港から市内まで、リニアモーターカーが走っています。今建設している日本のシステムとは異なり、ドイツ式です。全長約30kmで最高速度300km/h、約8分の乗車時間です。原野を走っているためスピード感はさほどありません。もっとも、新幹線の方が早いぐらいですが。

西安

1 西安港務

港務区といっても鉄道貨物ターミナルで、中欧国際鉄道の概要レクチャーを受けました。中国⇄中央アジア、ヨーロッパの70～80%が西安を通過しています。2013年に取り扱いを開始、2018年に爆発的に増えたそうです。今年もすでに昨年の年間実績を上回っています。ただし、1列車41コンテナなので、船の取扱量を脅かすほどの量ではないとのこと。取扱量の首位は、中⇄欧は電子部品、欧⇄中は木材だそうです。今後も取扱量増加に 대응するため、現状の西安鉄道ターミナルは、5倍に拡張予定だそうです。

2 兵馬俑

秦の始皇帝の墓を守るために、6,000体もの兵士や馬、馬車をかたどった焼き物が整然と並んでいます。発掘、修復作業が延々と続けられています。一体ずつ別のデザインがされ、ほぼ等身大の焼き物に非常に精巧な細工が施されています。発掘中なので全体が見られるわけではありませんが、それだけでもとても圧倒されます。

3 青龍寺

平安時代、空海（弘法大師）が遣唐使で唐に渡り、修行した寺院です。現地でも空海は優秀な成績で、帰国する時も引き留められたそうです。

4 大慈恩寺

孫悟空でおなじみ、三蔵法師のゆかりの寺です。境内には「大雁塔」があり、三蔵法師がインドから持ち帰った経典や仏像が収められています。



数々の兵馬俑



空海を記念した塔

大慈恩寺に飾られている空海

空海が修行した大慈恩寺

大雁塔

おわりに

以上、上海、西安を訪問してまいりましたが、すでに成熟した都市とはいえ、まだまだ活気のある上海、これから新たな発展を目指す西安と、対照的に見ることができました。しかし、インフラ整備からごみの分別まで、国家が決めたことはすぐに制度化され、施行されるという点では、中央集権国家のいい面と悪い面と両方あると実感しました。東京倉庫協会城南支部でも活躍され、その後上海に赴任してられる方にも聞きましたが、日本にいるときは自分も社会主義はいいかなものかと思っていたが、こちらに来てみると悪いものではないですよ、とおっしゃっていたのが印象的でした。



ラグビーワールドカップ2019 日本大会

総務部 冥賀直弥

44 日間にわたるラグビーワールドカップ 2019 日本大会が 11 月 2 日幕を閉じ、早くも 1 ヶ月が経ちます。今回の W 杯を通しての感想 『ラグビー、今まで観てなくてすみませんでした！』これに尽きます。それくらいハマりました。現時点では「観て感動するスポーツ部門」ではぶっちぎりでラグビーです。試合中に泣かされるとは思わなかった！感動した！そんな感動のラグビーワールドカップ 2019 日本大会。こちらでご紹介させて頂き、4 年後の世界大会（フランス大会なので、時差が敵ですよ！）までラグビーブームが続きますように。そんなことを願ってやまない今日この頃。それでは今大会の総括、早速お届けしたいと思います！

①日本代表快進撃！！

皆さんも熱狂したはず！日本代表歴史的快挙、決勝トーナメント進出です（ベスト 8）！しかも予選グループを全勝で勝ち上がっての 1 位通過！これ、実はとんでもないことなんです。世界の強豪国グループ（ティア 1 といいます）以外が決勝トーナメントに進むこと自体が稀なことですし、ティア 1 のチームを 2 ヶ国（アイルランド・スコットランド）を倒して全勝での 1 位通過は大会史上初！強豪国に真っ向勝負を挑み、両国を打ち破ったことは世界の度肝を抜くほどに凄いことなのです。心臓凄かったプレーはやはり、スコットランド戦での稲垣選手のトライ。（画像①）3 本のオフロードパスがつながっていく瞬間は本当に鳥肌がたちました。またぐっときたシーンとして、具智元選手が負傷退場してしまう時の無念の男泣き（画像②）を挙げさせて頂きます。具選手の試合への想いが伝わってきすぎて、テレビ前でこちらも感極まって涙が。。。俄かファンでも泣けるんですよ、ラグビー、熱いそしてエモい！惜しくも南アフリカに敗れベスト 8 にて今大会は終了しましたが、この大会で日本代表が見せてくれたパフォーマンスの凄さは必ず今後につながると思います。

②選手たちから溢れ出る”紳士感”

・痛がらない選手達

これだけ激しい接触があるスポーツです。試合の中ではケガすることも多々あります。そんな中、選手が痛がる場面の少なさには驚かされました。倒れても黙々と自分のポジションに戻る様子がホントに格好良かったです！

・試合が終わればノーサイド

画像は日本対アイルランドの試合後です。（画像③）負けた側のアイルランド選手が花道を作って日本代表を祝福しています。W 杯という大事な試合を落とした直後にこの行動ができるということにラグビー文化の偉大さが表れていますが、この後控室で悔し涙を流すというエピソードにやられました。カッコよすぎ。

・試合中止でボランティア

10 月 13 日岩手県釜、石で行われるはずだったカナダ対ナミビア戦が台風 19 号の影響で中止に。予選グループ敗退が決まっていたとはいえ試合がなくなったことは非常に残念だったはず。そんなカナダ代表チームの行動が、こちら。（画像④）そうなんです、台風の被災地の清掃ボランティアの参加を志願したとのこと。代表チームがそのままボランティアって。。。長いことスポーツを観てきましたが初めて聞きました。さらには、活動後に「釜石の思いやりに触れ、すばらしい時間を過ごすことができました。日本で貴重な経験をすることができたことを感謝したい」100 点のコメント、素晴らしいカナダ代表！

③ドラマチックが止まらない、その他の特集

・オールブラックス（ニュージーランド代表）のハカ

オールブラックスが試合前に行う民族舞踊。（画像⑤）観ているだけでテンションがあがる大人気パフォーマンスです。今大会の準決勝ではイングランドがハカを V 字体系で迎え討ちました。その V 字の底にいたのがイングランドの主将、オーウェン・ファレル選手。そしてその時の表情がこちら。（画像⑥）「不敵な笑み」とはこの顔のことを言うんですね。試合も 19 対 7 でイングランドの勝利でした。ちなみに、ハカのリーダーを務めたペレナラ選手。（画像⑦）僕の中では谷地沼さんにそっくり。毎回応援してました！

・南アフリカ初の黒人主将が掲げた優勝カップ

南アフリカでラグビーは「裕福な白人のスポーツ」と呼ばれてきました。そんな中黒人選手として初めて主将に選ばれたのが、シヤ・コリン選手。（画像⑧）はかり知れないプレッシャーを考えれば試合中の涙も納得です。イングランドを倒して優勝カップを掲げた時のサイドには白人選手が！（画像⑨）多言語多人数種から『虹の国』と表現される南アフリカの明るい未来を感じずにはいられません。

一生懸命紹介させて頂きました 2019 年ラグビーワールドカップ日本大会ですが、これホントに一部です。「ラグビーを観ていると試合と人生を重ねておじさんが泣く」というのはラグビーあるあるだそう。こんなに面白く感じたのは自分がおじさんになっただけではないはず！4 年後のラグビーワールドカップとは言わず、三信倉庫での、ラグビー観戦ツアーぜひ企画したいです！！



覚えて国名を隠したティア 1 のロゴマーク、何ヶ国わかりますか？半分以上で俄かファン脱出の予感！？



① 確かに笑ってません。この時も。



② あだ名は「ぐーくん」好物はラーメンです！



③ ラグビーではよくある光景とのこと。ノーサイドの精神はほんとに素晴らしい！



④ 濡れてしまった量はとんでもない重さらしいです。しかし、楽々と持ち上げていたとのこと、流石！



⑤



⑥



⑦

（左上）この迫力！ハカはニュージーランド国民全員が踊れるそうです。（右上）この表情！惚れてまうやろ！

（左横）え、似てませんか？仙台所長に！！



⑧



⑨

日本に勝利した南アフリカが世界一に輝きました。ってことは、日本が準優勝で良くないですか？駄目ですか・・・

社員旅行 2019

2019.11.9-10

大盛況で終わったラグビー W 杯。その興奮が残る翌週、上諏訪温泉へ向かった。ブレイブロッサム達が「ONE TEAM」の素晴らしさを示してくれたように、今年の社員旅行も三信倉庫の「ONE TEAM」っぷりを感じられた内容だった。むしろ、例年以上に感じられた。旅行中のみんなの表情を散らしてあるので、そこからも感じ取っていただきたい。



本社
高野智尋



味噌づくり

揉んで揉んで揉み続けた。はしゃぎ過ぎて衣服が汚れた。3班に分かれて揉んだが、「ONE TEAM」最後はまとめて熟成。



諏訪大社

気温6度の中、「社業繁栄」を祈禱してもらった。全員で合わせて行った2札2拍1札は「ONE TEAM」シンクロしていた。



三信の雷電？



諏訪湖



2次会でも「ONE TEAM」



新人4人も「ONE TEAM」



うなぎ小林

うなぎが白米のセンターに鎮座。「ONE TEAM」みんな驚いた。



ぬのはん

きれいな宿で、従業員の対応も良かった。お風呂の広さが残念だったが、「ONE TEAM」露天風呂は三信芋洗い状態。



白州工場

予想通り(?)、渋滞に巻き込まれ工場見学はできなかったが、白州・響・山崎の飲み比べは楽しかった。



漢は静かに楽しむ



これがあるから社員旅行



パリピはノリで楽しむ



風呂での知らないおっちゃんやバスガイドのおばちゃん等、第三者が三信の雰囲気を楽しんでいたことこそが、今回の旅行がいかに楽しかったか、三信が「ONE TEAM」になっていたかを示している。来年の旅行への期待が膨らむばかりだ。



民主主義の落とし穴



英国パブリックスクールに関しての本を読んだ。パブリックスクールとは全寮制の中高一貫私立校で、寮費を含む学費が高いので裕福な家庭の子女が多い。海外からの留学生も多く日本人も学んでいる。規律は厳しいがスポーツ、芸術、演劇から社会奉仕、軍事演習など勉強以外の活動にも力を入れ、文武両道の全人格的人間を育てることを目的としている。ハリーポッターの学校をイメージしていただくと分かりやすいだろう。

何世紀もの間そのような教育を継続し、社会に貢献できる人間を輩出してきた英国で、なぜブレグジットという、自国と周辺国を混乱に陥れる選択をしたのだろうか。

3年前キャメロン元首相が国民の不満を解消するために行った国民投票で、EU離脱賛成票が過半数をわずかに2%越えるまさかの結果。現在に至るまで国内の意思統一やEUとの交渉が大きな壁にぶち当たっている。

移民流入や目先の生活に不満を持っているEU離脱支持者に引き換え、欧州経済の安定と自国の地位向上を志向したEU残留派は、よもや負けると思わなかったので投票所に足を運ばなかった。残留派が負けてしまったのは、それが大きな原因と言われている。

英国で発生した民主主義は、たとえ1票でも多く獲得した勢力が、国や団体の運営を任せられる。人格的に優れた有識者も、酒におぼれ自分の生活もままならない人も平等に1票の権利がある。ここに民主主義の大きな落とし穴がある。「民主主義」という言葉は誤訳で、「民衆主義」と訳した方が実態に合っているという人もいる。

ウインストンチャーチル元首相が次の言葉を残したのは有名な話。

「民主主義は最悪の政治といえる。これまで試みられてきた、民主主義以外の全ての政治体制を除けばだが。」

フォローアップ研修

品川営業所

新人研修を通して一年間をかけて三信倉庫営業所を順番にご紹介させていただくこのコーナー。

前回の板橋のレポートは見ただけでしたでしょうか？！

今回お邪魔させていただいたのは品川営業所！

板橋の期待の新人、佐藤&滝瀬の二人でお届けします♡



<1. ライン作業>



ここではガロンに付いている水を拭きながら、同時に印字・ラベルが正常に張られているかを見ていくライン作業を体験しました。機械でどんどん作られるから追われっぱなしで大忙し！ガロンがとんでもなく重かったです（笑）そのあとコンテナに積むときにも、機械で上にあげたり下に下げたり拭いたり蓋したり、、、我ながら手際よくやれたと思います！

家庭・オフィス等から返却されたガロンの検品作業をしました。板橋営業所とは違い食品を扱う作業だったのでいつも以上に慎重かつ入念に検品をしました。（いつもが適当というわけではないですよ…）

検品する際、こすれてきた傷なのか積み下ろしの時に付着した塗料なのかを見分けるのが難しかったです。

<2. ガロンの検品作業>



実際にアクアクララの水が作られている工場の中も特別に見学させていただきました。一つのボトルをきれいにするのに4回もの洗浄をしているということに驚きました。

モンドセレクションの金賞を八年連続受賞しているアクアクララ、人気の秘訣の一つは徹底した品質管理だと思います。マシーンや作業の説明等、丁寧にいただきありがとうございました！

<3. 工場見学>



< Quiz ~ FUTOSHI × SYOGO ~ >

一部では兄弟説がささやかれているふとちゃんさん（大脇さん）と奨悟君。いきなりですがどちらが大脇さんか分かりますか？これが分かったあなたは真の品川マスター！答えは右下にあります！



<4. 研修後記>

今回の研修ではアクアクララの製造及び検品業務の体験をさせてもらいました。

いつも自分が仕事中心に何気なく飲んでる水にも作り方にたくさんの工程があることを知りました。アクアの方々は皆さん明るくて、優しく教えていただき楽しく体験することができました。

次回は城南島営業所におじゃまします！よろしくお祈りします！

品川営業所の皆さん、ありがとうございました！



// 2 周目 //

イタバシ の つぶやき

そろそろ馴染んでいただけたでしょうか、このコーナー?あわよくば楽しみにしてくれていたら嬉しいっ!!そんなつぶやきシリーズも SEASON2 に突入★レイアウトもちょっと変えてみました♪あの人のおんな一面こんな一面、発見しちゃって下さい★

今回のテーマ

「ワタシのこだわり」

ゴルフをプレーする時の使用ボールの番号は奇数を使用する。(基本 3 or 33)



HIROYUKI

年末に正月用で決まった銘柄の日本酒を 2 種類購入すること



KATSUYA

・餃子は酢と胡椒で食べます。
・蛸は何もつけずにそのまま食べます。

物の配置。特に財布の中身。(お札の向き、硬貨・カードの位置)
一度決めないと整理整頓が出来ないタイプです。。。



SYOGO



AOI

いっぱい寝る



MIHO

カメラはキヤノン



NAOKI

所有する車の色はホワイトと自然に決めていました。
これが僕の ANOTHER SKY



HIDEKAZU

平日の夜の食事は必ずご飯じゃないとダメ
太陽が出たら少しでも日に当たること



NOBUYUKI

1. 芝浦レポート 第2弾

岩田亜弓

今号は PIN UP に場所を変えて、芝浦再開発レポート第2弾をお送りします。



9階廊下の様子。ここに内装工事を施していきます

台風 15、19 号と歴史的な大雨が続いていたここ最近ですが、幸い現場では大きなトラブルもなく、11月12日に屋上の鉄骨の組み立てが完了しました。これにて無事上棟となり、これからは内装工事を中心に3月末に予定されている竣工に向けていよいよラストパートに入っていきます。躯体工事と同時進行で、すでに内装工事も少しずつ進められています。写真は2階先行ルームの様子。前号で紹介した TOTO での綿密な打ち合わせで決定されたトイレが実際に取り付けられ、図面から



2階トイレ仕上がり

現実にどンドン形になっていく様子はなかなか感動的でした。工事がひとつのヤマを越え、10月からは東急不動産様によるリーシング活動も始まりました。NEOでもご紹介したHPに加え、パンフレット・新橋に特設の入居相談サロンを用意し、来年7月のオープンに向けて入居者を集める活動をしています。まだ始まってわずかですが、見学に来て下さるお客様がたくさんいるようで、なかなか好調な滑り出しの様子。このまま完成まで突っ走ります！また4月号でお会いしましょう～



お客様にお配りしているパンフレット

3. SDGs推進私募債発行

神田三郎

銀行から融資を受ける際に支払う手数料の一部を使って、SDGs 関連団体の一般社団法人 SDGs 市民社会ネットワークと独立行政法人国際協力機構に寄付をしました。SDGs は、国連サミットで採択された、2030年までの国際開発目標で、貧困、教育、衛生、格差の問題、持続可能な消費や生産、気候変動などの課題に取り組むための持続可能な開発目標です。



活動ツールの一つ、カラーホイールバッジ

2. ビーチバレー大会

青藤あすか

9月7日、バレー部の課外活動として、大森ふるさとの浜辺公園までビーチバレーに行ってきました！台風15号が接近している中、この日は30度を超える真夏日！暑さに負けずみんなでバレーを楽しむことができました。私自身本格的なビーチバレーははじめてだったのですが、砂に足を取られるので運動量が半端ないんです。翌日は全身筋肉痛で動けませんでした（笑）そして！バレーで汗を流した後は浜辺に移動して、



白い砂浜に灼熱の太陽が照り付けます



真っ黒に日焼けしたみんなで集合写真！

呑み！日焼け（一部）！外で飲むビールはやっぱり美味しいですね～準備してくださった方ありがとうございました！次回の開催を勝手に期待しております（^^）/

4. 新メンバー発表

SPLASH編集部

今号から、経理部の 斉藤あすかさんに SPLASH 編集部員として参加していただくことになりました！決意表明のコメントをご紹介します。

イラストレーターの難しさに悪戦苦闘していますが、皆さんに楽しんでもらえる記事が書けるように頑張ります！よろしくお祈りします。

歴史に残るラグビー W 杯が終わり、はや 1 ヶ月。興奮冷めやらぬまま、年末を迎えようとしています。スポーツ観戦には普段あまり興味のない私も、選手たちの熱い想いや繰り広げられるドラマについて胸を熱くしてしまいました。何かに一生懸命な人が本当にキラキラしていますよね！（ラグーマンの筋肉…超カッコよかった～♡）東京オリンピック、社内では言えば芝浦竣工！！とイベント盛りだくさんの 2020 年には、どんなドラマが待っているでしょうか。期待を胸に、皆様良いお年をお迎えください！

